

2020
Mini Disclosure

JAおおいがわの概況
ミニディスクロージャー誌

ごあいさつ



大井川農業協同組合 代表理事組合長
増田 政光

日頃より当JAの事業運営につきましては、格別なるご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨今の農業や地域社会を取り巻く経営環境が多様な変化を見せるなか、新役員体制で迎えました令和2年度は、新たな3か年計画「～新時代への挑戦、農業の飛躍・経営の革新～」の初年度として取り組んでまいります。

農業においては、生産者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加等により産地の縮小が加速化している一方、消費者は健康志向、国産志向等の高揚で、農業の将来性、生産拡大を行う余地も高まるなか、今回の新型コロナ禍を機に、食料安全保障や食料自給率などの問題も表面化し、食料供給を担う農業・農家の存在感が増していることから、農畜産物など需要拡大が期待される品目の選択的な生産拡大や需要構造の変化に対応した茶の生産強化、農家所得の向上につながる実効性のある施策に積極的に取り組んでまいります。

信用、共済事業については、低金利政策の長期化による市場運用環境の悪化等を受け、一部支店における貸出業務集約の実施や資金運用部署の独立により有価証券の自己運用強化を図り、信用事業収益の維持・確保を目指し取り組んでまいります。

また、販売事業の出口戦略の一つとして、これまでの「まんさいかん」とは趣を異にする新たなビジネスモデルとしての体験型フードパーク「KADODE OOIGAWA」を、今年度満を持して開業いたします。この新しい施設は、JA大井川の「未来を創る将来投資」であり、必ずや5年先、10年先の管内地域農業を支え、農家組合員の所得向上とともにJA大井川を持続的な「成長軌道」に乗せていく地域の活動拠点になりうるものと確信しておりますので、組合員の皆様のお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さらには、これまで地域に根ざす組織として金融店舗を配置した多店舗展開を図ってまいりましたが、昨今の厳しい金融環境のもと、これまで通り総合事業を継続し、組合員の皆様の負託に添えていくためには、業務の効率化や機能強化のための「店舗再編や機能統合」による合理化を同時に進め、経営基盤の安定・強化につなげていかざるを得ない状況となりました。

何とぞ組合員の皆様のご理解とご協力を賜りながら、今回の「店舗再編や機能統合」計画を進めさせていただきたく重ねてお願い申し上げます。

以上のように、農業・JAを取り巻く環境が大きく変化し、また、厳しさを増すなか、今回のコロナ危機が発現し、先行きの見通しが立てづらい経営環境ではありますが、役職員一丸となり、一歩ずつ、着実に、今年度事業を進めてまいりますので、組合員の皆様には引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

末尾に、今後も子会社であります「㈱ジェイエイ大井川葬祭サービス」「ジェイエイ大井川シャネン㈱」並びに「KADODE OOIGAWA㈱」共々当JAに対しまして、これまで以上に愛顧・ご利用賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

令和2年8月



JA大井川本店

概要

設立	平成5年3月1日
本店所在地	藤枝市緑の丘1番地の1
組合員数	正組合員 17,855名 准組合員 36,323名 合計 54,178名
出資金	3,363,667千円
役員数	理事：26名 監事：6名（令和2年6月30日現在）
職員数	916名（令和2年3月31日現在）

経営理念

JAおおいがわは、農業振興を通じて「食」と「緑」を大切に、地域社会に貢献する事業と組織活動を積極的に展開し、その結果として経営の成果が組合員をはじめ利用していただく皆さまに還元できる経営体を目指します。

①農業を核とした新しい協同組合活動の展開

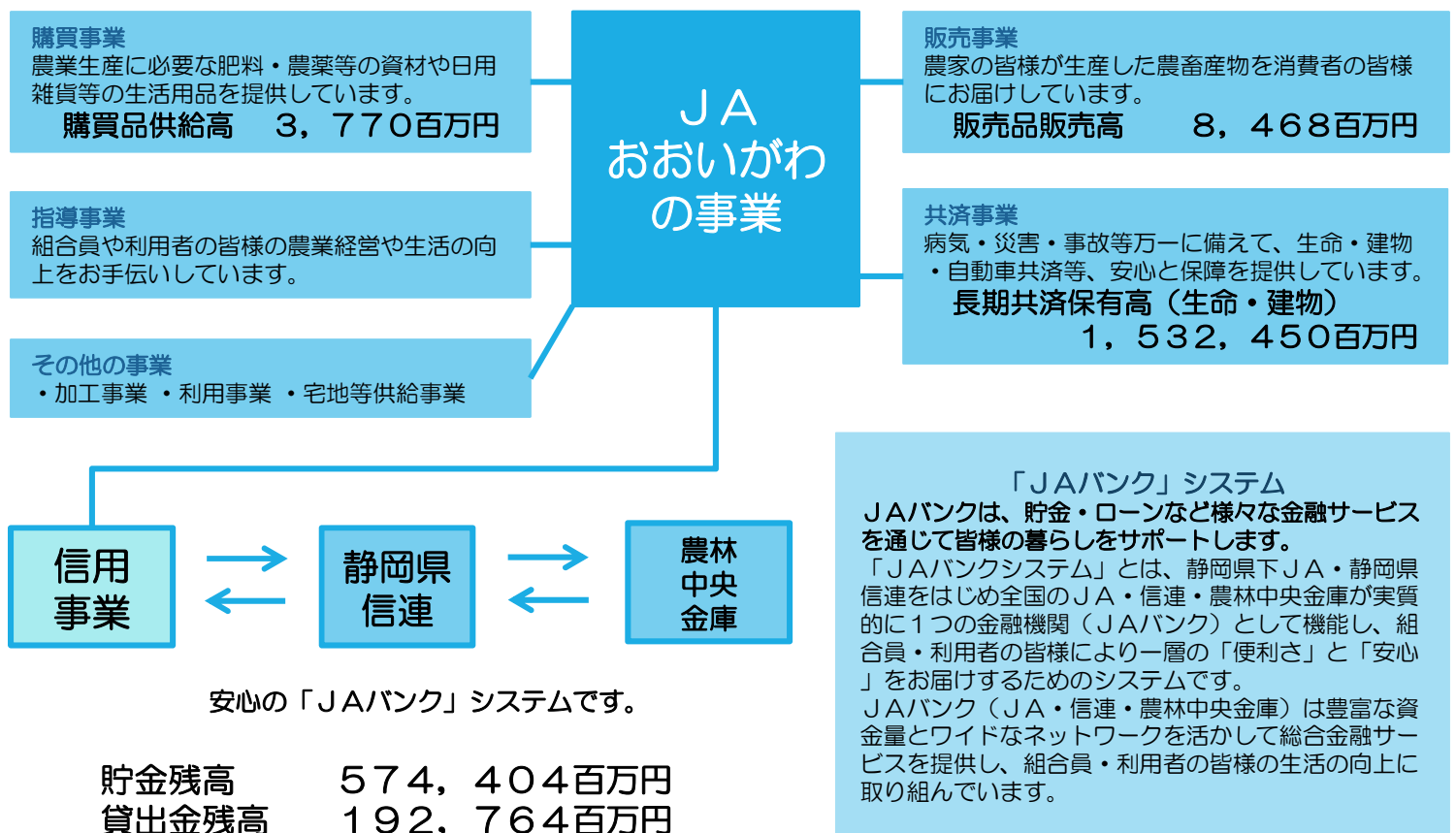
高齢化・担い手不足が一段と深刻化し、農業生産基盤が弱体化するなかで、個々の農業経営の安定と地域農業の維持・発展を目指すため、組合員および組織会員の結集と事業参画を推進します。

②地域社会に貢献する組織体であることの再認識

混住化・多様化する地域社会がJA事業の基盤であることを再認識し、「良き地域社会の一員」を目指して積極的な地域貢献活動を実施します。

③信頼と満足が提供できる近代的経営体を追及

事業運営における顧客満足度が優先できる経営体を目指すため、職員教育を強化するとともにリスク管理・コンプライアンス態勢の定着化に努めます。



決算のあらまし

財産の状況[貸借対照表]

資産の部

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度
現金	1,710	1,873
預金	344,762	349,714
有価証券	35,895	42,660
貸出金	188,010	192,764
貸倒引当金	▲836	▲239
その他資産	33,387	33,558
合計	602,928	620,330

負債・純資産の部

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度
貯金	554,421	574,404
引当金	2,874	3,524
その他負債	10,593	8,746
(負債計)	567,888	586,674
純資産	35,040	33,656
合計	602,928	620,330

預金：静岡県信連等へ預け入れして運用しています。(注)百万円未満を切り捨てて表示してあるため合計に不突合があります。
 有価証券：国債等を購入し運用しています。
 貸倒引当金：信用事業資産(貸出金)等の貸倒れに備えての準備金等です。
 その他資産：土地、建物などの固定資産、未収金等の雑資産、系統機関への出資金等です。
 その他負債：借入金・未払金・仮受金等の雑負債等です。
 純資産：皆様からの出資金、法定準備金、任意積立金、当期末処分剰余金等です。

経営成績[損益計算書]

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度
事業総利益	7,655	8,369
うち信用事業総利益	4,235	5,071
事業管理費	7,486	7,498
事業利益	169	871
経常利益	514	1,213
税引前当期利益	369	383
当期剰余金	239	220
当期末処分剰余金	1,166	1,826

事業総利益：各事業収益から事業費用を差し引いた金額の合計です。(注)百万円未満を切り捨てて表示してあります。
 事業管理費：人件費、業務費、諸税負担金、施設費等、労働や施設の管理に必要な費用です。
 事業利益：事業総利益から事業管理費を差し引いた金額です。
 経常利益：事業利益に受取出資配当金等の事業外収益を加え、支払利息等の事業外費用を差し引いた金額です。
 税引前当期利益：経常利益に固定資産処分益等の特別利益を加え、固定資産処分損等の特別損失を差し引いた金額です。
 当期剰余金：すべての収益から費用・損失・法人税等を差し引いた金額で、一般企業の当期純利益に相当します。
 当期末処分剰余金：当期剰余金に当期首繰越剰余金等を加えた金額です。

健全経営チェックポイント

自己資本比率 [健全経営のバロメーター]

(単位：百万円)

自己資本額	34,240	A
リスク・アセット (注1)	247,926	B
自己資本比率 (注2)	13.81%	A÷B

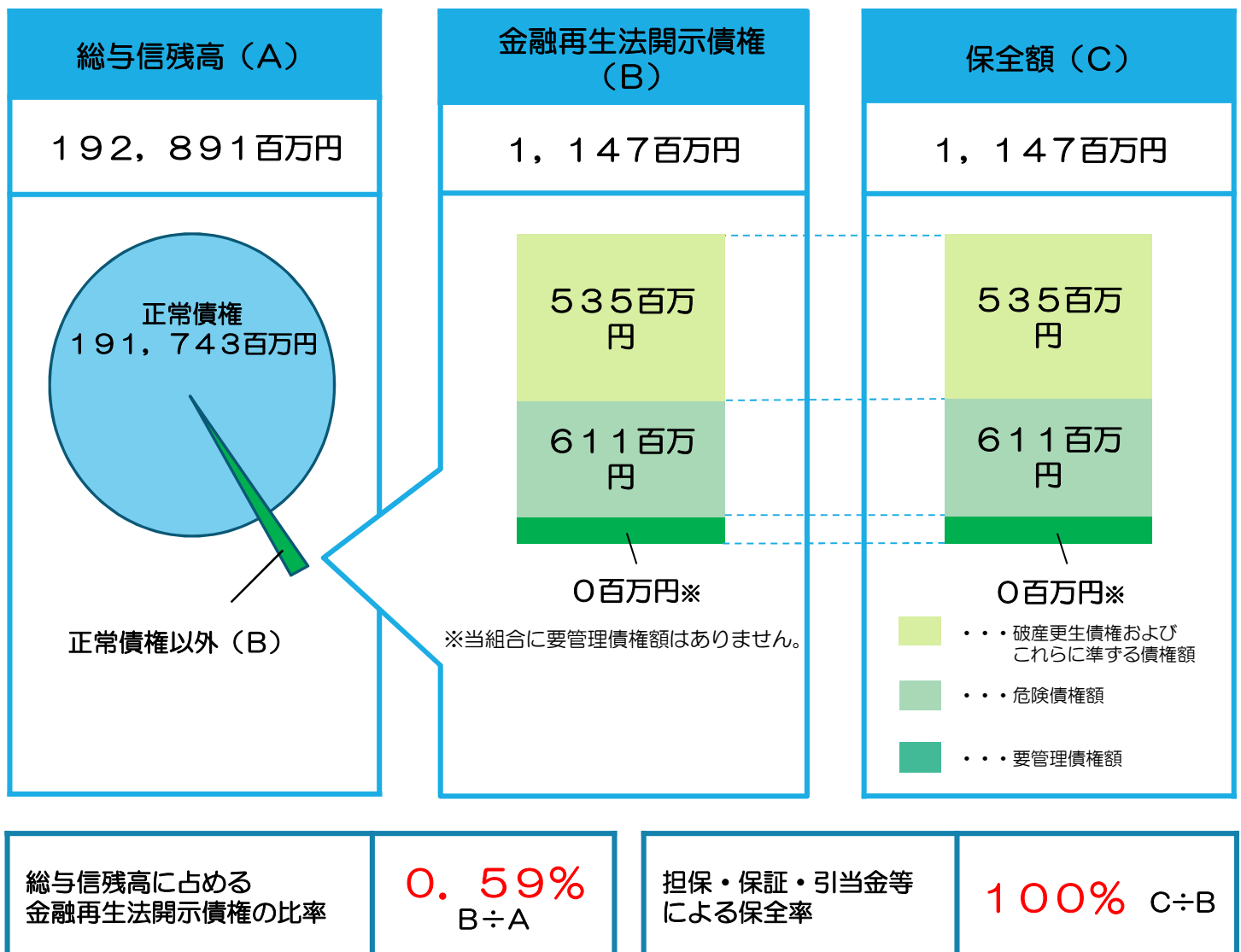
(注1) BIS規制(自己資本比率規制)に定義された自己資本比率を計算する際の分母に用いる貸出金や有価証券等の各種資産のことを指します。

(注2) 万一、運用により損失が発生しても、自己資本が十分確保されていれば、皆様からお預かりした貯金の払戻しに不足することはありません。

つまり、この比率が高いほど安全性は高くなります。当JAは国内業務金融機関の基準4%を大きく上回っています。

金融再生法開示債権の状況

(注) 百万円未満を切り捨てて表示してあるため合計に不具合があります。



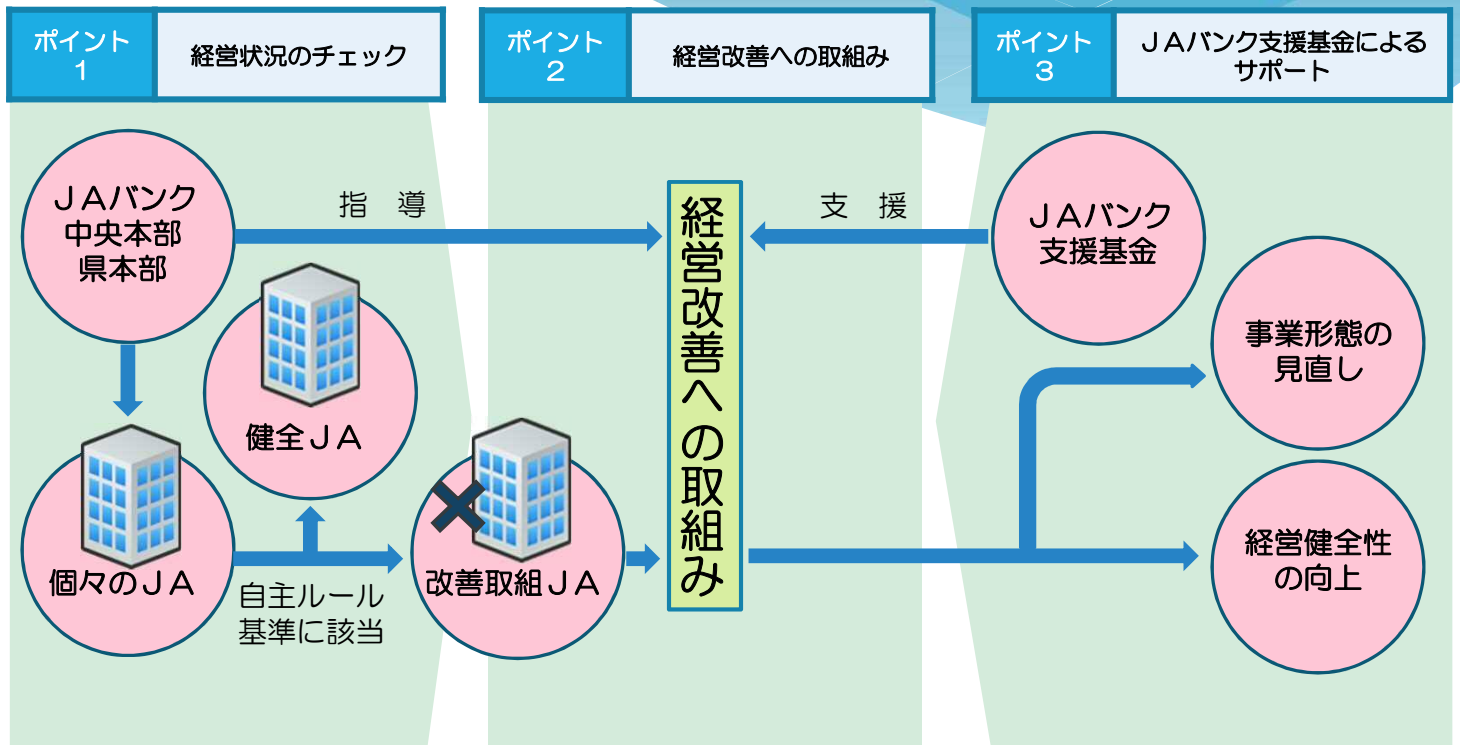
※上記比率は貸出金等のなかにかどのくらい金融再生法の開示債権(全金融機関共通)があるかを示していますので、この比率が低いほど健全な貸出金等が多いといえます。当JAは健全な運用を行っており、堅実な経営をしております。

※貸出金等の回収が困難になるなど万が一の事態に備えて、どのくらい担保や引当金で手当て・保全部ができていているかを示しています。当JAはこの率が100%であり、十分な保全措置をとっています。

安心をささえる2つの制度

安心① 破綻未然防止システム〔JAバンク独自のシステムです。〕

JAバンク全体で経営の健全性を確保し、組合員・利用者の皆様に一層の「安心」をお届けします。



安心② 貯金保険制度〔国による公的制度です。〕

貯金者を法律によって保護する保険制度です。（貯金には、保険がかけられています。）

対象貯金等		対象外の貯金等
当座貯金 普通貯金 別段貯金	定期貯金 定期積金 貯蓄貯金等	外貨貯金 譲渡性貯金等
決済用貯金（注1） （利息がつかない等の条件を満たす貯金）	一般貯金等（決済用貯金以外の貯金）	
全額保護	合算して元本1,000万円までとその利息等を保護（注2）	保護対象外（注3）

（注1）「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3つの条件を満たすものです。

（注2）1,000万円を超える元本とその利息等については、破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払われます。（一部カットされることがあります。）

（注3）破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払われます。（一部カットされることがあります。）



詳しいお問い合わせは

大井川農業協同組合 TEL. (054) 646-5111 (代)
藤枝市緑の丘1番地の1 FAX. (054) 641-6997

JAおおいがわの事業内容を下記ホームページでもご案内しています。

<https://ooigawa.ja-shizuoka.or.jp/>